

## 第21回 TOLICカンファレンス

日 時 2021年12月28日(火) 13:00～18:00

場 所 ホテルメトロポリタン盛岡(本館) 岩手県盛岡市駅前通(盛岡駅隣接)

## 特別講演



島根大学 大西 新氏

13:10～13:55 (45分)

■島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座 特任教授 大西 新氏  
 テーマ「世界初の精神疾患予兆検査マーカー:尿中バイオピリン」

うつ病や統合失調症などの精神疾患の多くはストレスが引き金になることが多いことから、コロナ禍の日本においてそのリスクが高まっていると考えられます。しかしながら、精神疾患に繋がる可能性のあるストレスを感知することが難いため、ケアが後手に回っているのが現状です。最近、我々は尿中に含まれるバイオピリンと言う物質が精神疾患に繋がるストレスを可視化することが出来る可能性を見出し、製品化に成功しました。本講演では、このバイオピリンの可能性を中心にお話しさせていただきます。

13:55～14:40 (45分)

■セルスペクト株式会社 代表取締役 岩瀬拓也氏  
 テーマ「バイオマーカーはかく語りき:ここから感染症まで」

セルスペクト  
岩瀬拓也氏

「マーカー」とは、何かを「測る・計る」際の「目印」のことを言う。これが、病気を見つけるものなれば疾病マーカー、血液に含まれているということを表現したいのであれば血液マーカー、健康の尺度として利用するのであれば、健康マーカー……etcのようになんでも良い。要は、どのように利用するかで「〇〇マーカー」とされる。さて、心を「はかる」とこと、新型コロナの何かしらを「はかる」とことは、その利用目的の範疇では全く異なるように見えるかもしれないが、科学的には、はかりとする対象が異なるだけで、その観測目的に差異はない。ただただ、所定の自然の中から生じている事実を定量的に、且つデジタル的に知ろうとしているだけである。SNSは「知ること」の障壁を排除した点で、情報の民主化を波及させた。バイオマーカーもこれと同様で、生物学的現象を情報化させるセンサーである。このバイオマーカーにより、生命現象を平等な情報として知ることができれば、「生命の民主化」、換言すると、「健康の民主化」がなされるとも言えないだろうか。パンデミック渦中である今日、このことが、どのような社会であるかについて考えてみたい。また、この場をお借りして、**盛岡地域におけるワクチン接種後の免疫抗体量に関する疫学調査結果、オミクロン株最新情報についても議論する。**

14:55～15:45 (各10分)

## 【学生の人材育成:TOLICインターンシップ2021報告】

- 全体報告 岩手大学研究支援・産学連携センター 小川 薫 氏
- 発表
  - ・関工業高等専門学校 未来創造工学科 化学・バイオ系4年 上野裕太郎 さん
  - ・関工業高等専門学校 未来創造工学科 機械・知能系 4年 菊池華央 さん
  - ・関工業高等専門学校 未来創造工学科 機械・知能系 4年 白石菜穂 さん

15:45～16:50 (各10分)

## 【報告】●TOLIC企業図鑑 株式会社フロムいわて

- 高校の取り組み 盛岡第一高校
- MEDICA(国際医療機器展)報告 株式会社TOLIMS

## 【予定】●1月 TOLICカンファレンス in 一関 一関高専 戸谷先生

- 3月 TOLIC物語・若者に夢を!映像制作 株式会社フロムいわて
- 「地域のレジリエンスを考える:アルプス電気盛岡工場からのスピンオフ調査中間報告」東北大学 福嶋先生

16:50～18:00 (各10分)

## 【各機関からの情報提供】

- フィンガルリンク株式会社
- 株式会社ピーアンドエーテクノロジーズ
- 株式会社ロバの耳
- 株式会社アイカムス・ラボ
- 株式会社アイ・モーションテクノロジー

参加申し込み 定員になりましたので締め切らせていただきました。

参加希望の方は、12/21(火)までに下記TOLIC事務局へメールでご連絡下さい。  
 ※定員100名になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。  
**リアル参加の開催となります。**  
 TOLIC事務局 (担当:小笠原)  
 E-mail: [ogasawara@ihatov.co.jp](mailto:ogasawara@ihatov.co.jp) 電話:090-9038-1226

主 催 TOLIC <https://tolic.jp/>  
 後 援 株式会社イーハートブ・スクエア 岩手大学研究支援・産学連携センター、盛岡市、  
 北東北ナノメディカルクラスター研究会、INSいわてコーディネート研究会